3月21日は「バルブの日」 暮らしと産業を支えるバルブ

日本バルブ工業会（堀田康之会長）は、バルブ工業の進捗・発展に寄与することを目的とし、国内の主要バルブ製造業者が参加して設立された。正会員114社、賛助会員66社（2023年3月10日現在）で構成され、今日まで経済情勢の変化に対応して、バルブ工業発展のために有効な事業を実施している。創立日の3月21日を「バルブの日」と定め、毎年イベントを開催するなど、バルブ産業の認知度向上と、水栓をはじめとする暮らしや産業と深く関わるバルブの果たす機能の周知に努めている。恒例の「バルブフォト五七五コンテスト」のほか、同会独自の環境ラベル制度などの取組みについて紹介する。

総力結集し業界発展へ

一般社団法人 日本バルブ工業会会長 **堀田 康之氏**

一昨年、当工業会は、2023年度を最終年度とする中期活動計画「V70 All for Society～社会を支えるバルブ産業の更なる進化のために～」を策定し、それぞれの分野で掲げているV70達成に向けたアクションを推進しております。

また、カーボンニュートラルに向けては専門委員会を新設する提案がなされるなど、業界を挙げて取り組む機運も高まってきており、当工業会会員企業の皆さまと連携しながら、危機感や問題意識の共有や現状の分析を進め、2024年度にはカーボンニュートラル中長期目標を公表したいと考えています。

世界経済フレームの分断はバルブ産業に少なからぬ影響を及ぼしており、厳しい状況が続くものと思われますが、いかなる環境にあっても我々が為すべきことは、お客さまのニーズに合った製品、テクノロジー、エンジニアリングをタイムリーに提供することに尽きると考えております。

当工業会会員企業の総力を挙げて業界全体の発展に努めてまいる所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申しあげます。

脱炭素化に踏み出す年

賀詞交歓会　**堀田会長が抱負**

日本バルブ工業会は1月19日に都内で新年賀詞交歓会を開き、計65社の正会員・賛助会員、来賓など約100人が参加した。堀田康之会長（キッツ会長）は今年のキーワードの一つに「カーボンニュートラル」を挙げ、来年度から工業会内に委員会を設置し、脱炭素化に向けた指標や目標値の検討に取り組んでいくことを明らかにした。

堀田会長はあいさつの冒頭、今年の景気観について「先は読めないが、日本経済はそれほど悪くない」と多くの識者が話していることを紹介し、「建築設備市場を見ても国内マーケットは年後半に向けて良くなっていくと思う。われわれバルブ産業に携わる企業にとっても去年より明るさが見える」と見通しを示した。

会場の様子

一方で、経団連や政府から要請されている賃上げに応えるためには「生産性の向上」が不可欠であるとし、「AIやDXを取り入れていくことが重要」との考えを述べた。

カーボンニュートラルについては、委員会で指標を作成し、"見える化"を図った上で、中長期の目標を設定していく考えだとした。そのほかのキーワードは「適正利潤の確保」「2024年の工業会創立70周年」で、70周年に関しては今年から記念事業の準備を進めていく。

来賓からは経済産業省素形材産業室の沼舘建室長があいさつ。厳しい事業環境の中、同省としても「ものづくりの基幹産業である素形材、バルブ産業のさらなる発展を支援する施策を進めていきたい」と意気込みを語った。具体的な取組みとして、まずカーボンニュートラル実現に向けた支援策を紹介。「素形材産業はエネルギー多消費産業であり、熱プロセスの脱炭素化に向けた対応を進めていく」などと話し、工業会の取組みに大きな期待を述べた。また、適正利益の確保、慢性的な人材不足への対策にも力を入れていくとした。

乾杯の発声は横山達也副会長・東京支部長（東工・バレックス社長）が、中締めは村井米男副会長・彦根支部長（オーケーエム会長）が行った。

環境保全や製品PRに

独自の環境ラベル制度

日本バルブ工業会では独自の環境ラベル制度である「環境配慮バルブ登録制度」を実施している。同会が2007年に策定した「バルブ産業ビジョン」では環境配慮設計基準に基づくものづくりを行っているバルブ産業の将来像を描いており、これを具現化し全産業規模で環境保全に寄与すること、また環境配慮設計に取り組んだ正会員企業の製品のアピールや環境負荷の少ない製品の需要喚起・供給促進を目的に同制度が開始された。会員企業が環境配慮設計を行ったバルブ製品を登録することができ、2023年2月末時点で10社26製品が登録されている。

1月にリニューアルしたホームページでは登録されている製品の紹介ページを公開。登録製品の写真等を弁種別に掲載している。

制度を運用する同会環境委員会では「環境配慮設計されているのに登録されていない製品も多い。グリーン調達に気を配るユーザーへの訴求力あるページをつくることで、会員企業に製品登録を促したい」としている。

独自の環境ラベル

入賞者が決定

第12回バルブフォト五七五コンテスト

バルブと暮らしとのつながりを、写真とそれに合わせた川柳で表現してもらい、さまざまな場面で活躍しているバルブについて理解を深めてもらう「バルブフォト五七五コンテスト」が同会主催で行われ、最優秀作品賞など11作品の入賞作品が決まった。

コンテストには昨年6月1日から今年1月31日までの期間に、227名398作品の応募が寄せられた。

入賞作品は最優秀作品賞1点、広報委員長賞1点、五七五賞1点、優秀作品賞3点、入選5点となった。

最優秀作品賞の作品名は「負けない」で、川柳は「コロナ禍を生き抜くためにできること」。作者は吉田　聖さん（北海道）。

広報委員長賞は、作品名「バルブ群」で、川柳は「バルブ群何が何の役目かな」。作者は、岩元　禎さん（愛媛県）。

五七五賞は、作品名「花筏」で、川柳は「仕切弁開ければ春の宴かな」。作者は、福田　康幸さん（栃木県）。

そのほかの入賞作品は別掲の通り。

最優秀作品賞

作品名：負けない
川　柳：コロナ禍を生き抜くためにできること
作　者：吉田　聖さん（北海道）

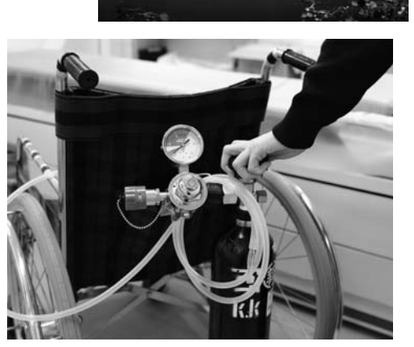
広報委員長賞

作品名：バルブ群
川　柳：バルブ群何が何の役目かな
作　者：岩元　禎さん（愛媛県）

優秀作品賞

作品名：がんばれ兄ちゃん！
川　柳：あと少し水の高さと俺の足
作　者：けんちゃんさん（神奈川県）

作品名：水面を彩る
川　柳：ため池のバルブを囲むホテイ草
作　者：にしおかさん（広島県）



作品名：医療現場の支え役
川　柳：開け閉めでつながる命また一つ
作　者：KRY1219さん（新潟県）

五七五賞

作品名：花筏
川　柳：仕切弁開ければ春の宴かな
作　者：福田　康幸さん（栃木県）

◎入選◎

作品名：温泉冷却中
川柳：湯を冷ましぽかぽか温度で送りだす
作者：松本　望さん（大分県）

作品名：防災
川柳：災害時皆助かる井戸の水
作者：山野　修一さん（熊本県）

作品名：街の守護神
川柳：片隅で観客見守る消火栓
作者：吉村　誠さん（奈良県）

作品名：レンコン収穫の古い洗浄機
川柳：相棒とレンコン収穫半世紀
作者：糸賀　一典さん（千葉県）

作品名：冬隣
川柳：思い切り背伸びしてみる冬隣
作者：みけさん（長野県）

3月21日はバルブの日

ばるちゃん

緩急剛柔
モリタのバルブは緩急剛柔。さまざまな用途や状況で適切に働いています。
スイング式逆止弁 P500～3000型 強靭な構造、優れた止水性能。
メタルシートバタフライ弁 MB-C型 抜群の止水性能と優れた耐食、耐久性。
コンフローオートバルブ MRF-100型 減圧弁 水圧を動力源に無電源で自動的に作動し、出口圧力を一定保持する自動調整弁です。
水と人とのかかわり ― バルブの モリタ 株式会社 森田鉄工所
本社工場 〒340-0121 埼玉県幸手市大字上吉羽2100-33 ☎0480(48)0891㈹ FAX.0480(48)0137
営業本部 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-15 ☎03(5820)3088㈹ FAX.03(5823)7594

水道バルブ工業会
会長 木股昌俊
副会長 串田守可
副会長 宮川多正
理事長 市川　孝
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-9（日本水道会館）
TEL.03(3264)0385 FAX.03(3222)6706 http://www.jwva.jp/

安心・安全な暮らしのために…
Series 耐震型 JWWA B 117 サドル付分水栓 RX
技術と信頼のトレードマーク NIPPO
●サドル上部が回転し、地盤変動から給水管を守る
●施工は従来のまま
●従来型サドルをベースとしたシンプル構造
ロック確認　給水配管施工後ロック解除
↑施工動画はこちら
素敵な創造 ～人へ・未来へ
株式会社 日邦バルブ
本社・松本工場 松本市笹賀 3046
北海道工場 苫小牧市柏原 6-120 ISO 9001・14001 認証取得
東京 TEL.03-5338-2231 札幌 TEL.011-232-0471 仙台 TEL.022-213-3177 北関東 TEL.0283-22-7547 神奈川 TEL.042-741-7121
松本 TEL.0263-50-5221 名古屋 TEL.052-735-6511 大阪 TEL.06-6210-2563 広島 TEL.082-232-8117 福岡 TEL.092-472-5128
https://www.nippov.co.jp/

地下式消火栓（JWWA B 103－1969）用補強金具
カロック
古い消火栓は カロック が守ります
経年劣化による漏水・破損防止に
カロックを取り付けた消火栓（消火栓1台につき5個必要）
SGS 株式会社 清水合金製作所
滋賀県彦根市東沼波町928 TEL 0749-23-3131

タブチは、高品質な商品を通して、未来へとつづく
『安心』『安全』なライフラインをデザインしていきます。
100年先の水道のためにできること…。
流体をコントロールするのが仕事です。
株式会社 タブチ
<本社 / 工場> 〒547-0023 大阪市平野区瓜破南 2-1
TEL 06-6708-0150㈹ FAX 06-6708-0210
ISO14001 認証 JQA-EM1811 本社・工場
ISO9001 認証 JQA-2668 本社
商品のお問合せは 0120-481-130
<支店 / 営業所>札幌・盛岡・仙台・高崎・新潟・千葉・土浦・さいたま・さいたま北・多摩 東京・横浜・静岡・金沢・名古屋・名古屋北・京都・大阪・神戸・岡山・広島・松山・福岡・鹿児島・沖縄
検索機能充実の TBC WEBカタログ はホームページから！ タブチ 検索
TABUCHI WEB CATALOG
ホームページはこちら▶